

技術同友会の女性技術者活躍推進活動

1986年

「女性技術者の育成に関する見解」を取りまとめ

2012年

「女性技術者活躍に向けてのポジティブアクション」委員会設置（委員長：國井秀子会員）

2013年

「女性技術者活躍実現」委員会設置（委員長：國井秀子会員）

====> 2014年

「女性技術者活躍に向けてのポジティブアクションについての提言」

「女性技術者のエンパワーメント推進に関するシンポジウム」

「女性技術者育成功労賞」の顕彰制度導入

2014年

「ダイバシティー推進委員会」（委員長：内永ゆか子会員）設立

====> 第1回女性技術者育成功労賞表彰（3名）

第2回女性技術者育成功労賞表彰（3名）

第3回女性技術者育成功労賞表彰（5名）

2015年

2016年

2017年

「ダイバシティー推進委員会」（委員長：水本伸子会員）

====> 第4回女性技術者育成功労賞表彰（5名）

第5回女性技術者育成功労賞表彰（7名）

「女性技術者のキャリアパスの開発に向けて」シンポジウム

2018年

2019年

「ダイバシティー推進委員会」（委員長：富永由加里会員）

====> 第6回女性技術者育成功労賞表彰（7名）

コロナ禍で無し

2020年

2021年

「ダイバシティー推進委員会」（委員長：白川貴久子会員）

====> 第7回女性技術者育成功労賞表彰（13名）

「SDGs達成に向けた女性技術者のエンパワーメントの鍵」シンポジウム

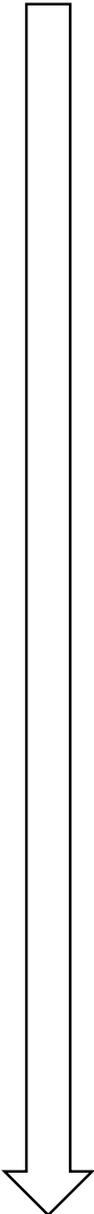
第8回女性技術者育成功労賞表彰（13名）

「女性技術者の母集団拡大とキャリアパスの開発に向けて」シンポジウム

第9回女性技術者育成功労賞表彰（6名）

2022年

2023年



女性技術者活躍に向けてのポジティブ・アクションについての提言

提言1：女性のエンパワーメントのためのポジティブアクション

「日本の社会と経済の健全な発展のためには女性のエンパワーメントが喫緊の課題であるが、その取組は非常に遅れている。この状況を改善するには、政府のポジティブアクションのゴールを確実に実現することが重要である。産業界においてはとりわけ女性技術者が少なく、その量的拡大とエンパワーメントのためにクォータ制などの強力なポジティブアクションが必要である。」

提言2：女性技術者に関するデータ収集と公開

「女性技術者に関するエンパワーメント推進にあたっては、定量的な情報が不足しており、進捗状況の把握が困難である。ポジティブアクションを加速するには、企業が女性技術者に関する定常的なデータ収集を実践し、その可視化として例えば有価証券報告書等での公開を義務つけるべきである。」

提言3：女性の理工系進学支援

「日本では理工系に進学する女子学生が少なく、多くの産業分野で女性技術者の採用が遅れている。これを改善するには、女性が理工系に進学しやすい教育環境作り、および、女性技術者のロールモデルの提供や大学などの高等教育における女子学生枠の設定や女子大学の再編を通じて理工系学部を強化する、更には奨学金制度など多面的な支援が必要である。」

提言4：トップ、中間管理職のリーダーシップの強化

「産業界における女性技術者のエンパワーメント推進には、企業トップと組織管理職の深い理解とリーダーシップの強化が肝要であり、そのための継続的な啓発活動として優秀企業の表彰などの促進施策を講じる必要がある。更に、女性技術者のエンパワーメントに関する企業の達成度を測る仕組み作りが必要である。」

女性技術者活躍推進シンポジウム

2014年2月12日

女性技術者のエンパワーメント推進に関するシンポジウム

テーマ：女性技術者登用による産業競争力強化を目指して

(国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業)

【プログラム】

- ・女性技術者のエンパワーメントを進める企業5社から事例発表
- ・パネルディスカッション

2019年2月26日

テーマ：女性技術者のキャリアパスの開発に向けて

【プログラム】

- ・基調講演 國井秀子 芝浦工業大学院マネジメント研究科 客員教授
- ・パネルディスカッション



2022年3月1日

テーマ：SDGs達成に向けた女性技術者のエンパワメントの鍵

【プログラム】

- ・基調講演 林裕子 山口大学大学院 技術経営研究科教授 (特命)
- ・パネルディスカッション



2023年3月1日

テーマ：女性技術者の母集団拡大とキャリアパスの開発に向けて

【プログラム】

- ・基調講演 行木陽子 中央大学 特任教授
- ・パネルディスカッション

